

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 29 日 (2021.7.29)

【公開番号】特開 2020-68830 (P2020-68830A)

【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【年通号数】公開・登録公報 2020-018

【出願番号】特願 2018-202545 (P2018-202545)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 17 日 (2021.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域が前面側に形成された遊技盤と、  
前記遊技盤を装着可能であり、外枠に対して開閉可能な本体枠と、  
前記本体枠の前面側に設けられており、前記本体枠に対して開閉可能な前枠と、を備え  
た遊技機であって、  
前記前枠に設けられ、当該遊技機の前側側を向いて配置される第 1 発光部を有する前枠  
発光手段と、  
前記遊技盤に設けられ、当該遊技機の前側側を向いて配置される第 2 発光部を有する遊  
技盤発光手段と、を有し、  
前記遊技盤は、前記本体枠が前記外枠に対して閉鎖された状態で裏面が当該遊技機の背  
面側から視認できるように構成されており、  
前記第 1 発光部は、該第 1 発光部から発せられる光が前記前枠の表面側からだけでなく  
前記前枠の裏面側からも視認できるように設けられており、  
前記第 2 発光部は、該第 2 発光部から発せられる光が前記遊技盤の表面側からだけでな  
く当該遊技機の背面側からも視認できるように設けられており、  
前記本体枠が閉鎖状態にあり、且つ、前記前枠が開放状態にあるときには、前記第 1 発  
光部および前記第 2 発光部の発光に関して通常の制御とは異なる特定の制御が行われるも  
のであり、  
さらに、所定の調整操作により前記第 1 発光部と前記第 2 発光部の発光輝度を調整可能  
な輝度調整手段を備え、  
前記第 1 発光部および前記第 2 発光部の発光に関して前記特定の制御が行われている間  
は、前記調整操作が行われたとしても前記第 1 発光部と前記第 2 発光部の発光輝度が変化  
することなく、前記輝度調整手段による調整が反映されない  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 2 】

従来より、発光装置が設けられる前枠を備える遊技機が提案されている（例えば、特許文献１）。発光装置は、遊技機に状況に応じた態様で発光可能であり、その遊技機の状況を外部に知らせることができる。

## 【 手続補正 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 0 3 】

【 特許文献 1 】 特開 2 0 1 8 - 0 7 9 1 6 3 号 公 報

## 【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 4

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 0 4 】

ところが、従来と同様の態様では、遊技機の状況を外部に知らせる手法として十分であるとは言い難かった

## 【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 5

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 0 5 】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、新たな態様で遊技機の状況を外部に知らせることができる遊技機を提供することにある。

## 【 手続補正 6 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 7

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 0 7 】

本発明は、

遊技球が流下可能な遊技領域が前面側に形成された遊技盤と、

前記遊技盤を装着可能であり、外枠に対して開閉可能な本体枠と、

前記本体枠の前面側に設けられており、前記本体枠に対して開閉可能な前枠と、を備えた遊技機であって、

前記前枠に設けられ、当該遊技機の前側側を向いて配置される第 1 発光部を有する前枠発光手段と、

前記遊技盤に設けられ、当該遊技機の前側側を向いて配置される第 2 発光部を有する遊技盤発光手段と、を有し、

前記遊技盤は、前記本体枠が前記外枠に対して閉鎖された状態で裏面が当該遊技機の背面側から視認できるように構成されており、

前記第 1 発光部は、該第 1 発光部から発せられる光が前記前枠の表面側からだけでなく前記前枠の裏面側からも視認できるように設けられており、

前記第 2 発光部は、該第 2 発光部から発せられる光が前記遊技盤の表面側からだけでなく当該遊技機の背面側からも視認できるように設けられており、

前記本体枠が閉鎖状態にあり、且つ、前記前枠が開放状態にあるときには、前記第 1 発光部および前記第 2 発光部の発光に関して通常の制御とは異なる特定の制御が行われるも

のであり、

さらに、所定の調整操作により前記第 1 発光部と前記第 2 発光部の発光輝度を調整可能な輝度調整手段を備え、

前記第 1 発光部および前記第 2 発光部の発光に関して前記特定の制御が行われている間は、前記調整操作が行われたとしても前記第 1 発光部と前記第 2 発光部の発光輝度が変化することなく、前記輝度調整手段による調整が反映されない

ことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明によれば、新たな態様で遊技機の状況を外部に知らせることができる遊技機を提供することができる。